

学年	高校3年	教科	公民	科目	政治・経済（必修）	単位数	2
教科書名		高校政治・経済（実教出版）		副教材名	新政治・経済資料（実教出版）		
コース・クラス		N進文系					

## I. 目標

1. 3年次の基礎学力到達度テスト6割をめざし、基礎的な実力を養う。
2. 民主主義の本質を理解し、広い視野から政治・経済・国際関係について客観的に理解する力を身につけさせる。
3. 政治・経済・国際関係などに関する諸課題について主体的に考察し、解決策を探究させる。
4. 公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

## II. 授業のねらい

1. 日本が直面している国際問題を扱い、自分たちの身近な問題として捉えさせ、日本の立場、解決策を考えさせる。
2. 様々な出来事に歴史的・政治的背景があることを理解させ、物事を多面的に捉える力を身につけさせる。
3. 進路目標に即した問題演習を行い、共通テスト・難関私大（MARCHレベル）に対応できる学力を育む。

## III. 授業の進め方

1. 毎時間、冒頭に時事問題を取扱い、世の中の動きをつかませる。
2. 板書を軸とした講義に加え、電子黒板や図表も活用し、効率的に授業を進める。
3. DVDや図表を効果的に活用し、視覚から理解を深めさせる。主権者教育はAL方式で行い、より実効性のあるものとする。
4. 小テストを実施し理解度を確認すると共に、單元ごとにセンターレベルの問題を解かせる。

## IV. 学習上の留意点

1. 現代社会における事象への関心・意欲を高めるような内容を理解すること。
2. 用語の暗記のみではなく、様々な事象と関連付けて覚える。
3. 板書の書き写しだけではなく、口頭での説明を細かくメモし付随する知識も身につける。

## V. 定期試験

- 1学期 期末試験 : 政治分野（日本国憲法の基本的性格）・経済分野（現代経済と福祉の向上）  
2学期 期末試験 : 政治分野（現代の国際政治）・経済分野（世界経済と日本）

## VI. 評価の方法

1. 各学期の定期試験
2. 小テスト
3. 課題提出

Ⅶ. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	第1編 現代の政治 第2章 日本国憲法の基本的性格 1. 日本国憲法の成立 2. 平和主義	小テスト	・日本国憲法の成立、平和主義、人権保障の内容を学習し、今日における日本国憲法の意義を理解する。安保体制に関する問題は難易度が高いが、時代ごとの解釈の変化をしっかりと把握する。
	5	3. 基本的人権の保障 4. 人権のひろがり		
	6	第2編 現代の経済 第3章 現代経済と福祉の向上 1. 戦後復興と経済成長 2. 経済の停滞と再生	課題提出 小テスト 期末試験	・戦後から現在までの経済史を、歴代の内閣総理大臣の政策と共に学習する。敗戦国の日本が、どのようにして経済的に復興をしていったのかを理解する。
二学期	9	第1編 現代の政治 第4章 現代日本の政治 1. 戦後政治の歩み 2. 選挙制度と政党 3. 政治参加と世論	小テスト	・政党と選挙、行政機能の優位、世論の役割について学習し、日本の政治が抱える問題について考える。有権者として、投票することの意義や責任を理解し、主体的に政治に参加する意識を身につける。
	10	第2編 現代の経済 第4章 世界経済と日本 2. 国際経済体制の変化		・国際経済体制の変容について考える。戦後の国際秩序の変化に関わる諸問題を理解する。世界史・日本史の学習と連動して理解する。
	11			
	12	第1編 現代の政治 第5章 現代の国際政治 3. 現代国際政治の動向 4. 核兵器と軍縮 6. 国際政治と日本		・冷戦終結後の国際政治、核軍縮や管理について学習し、国際社会と日本の関係について戦後史の流れの中で考える。
		第2編 現代の経済 第4章 世界経済と日本 3. 金融のグローバル化と世界金融危機 4. 地域経済統合と新興国の台頭	課題提出 小テスト 期末試験	・第二次世界大戦後の貿易体制、為替相場の変動や冷戦の流れは、当時の首脳と共に把握する。地域経済統合も含めて、戦後史を合わせて理解する。

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。